



思い出に残った6年生を送る会・お別れ遠足

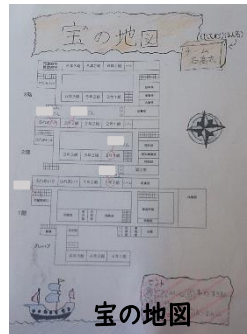
昨日2日(木)は、6年生を送る会と送別遠足がありました。送る会は、卒業していく6年生に、在校生からの感謝の気持ちを表す会となりました。「わくわく通信166号」でもお知らせした通り、5年生以下の代表委員会を開き、「6年生を送る会」で6年生に感謝の思いを伝えるためのプロジェクトを話し合い、着々と準備をしていたのです。5年生は今日の日のために、6年生に渡すメッセージカードを下級生一人一人に書いてもらい、準備をしてきました。また、そのメッセージはお宝として、今日のたてわり班活動の「宝探し」中で6年生に見付けてもらったのです。そのアイデアと5年生の努力が素晴らしかったのです。

5年生は、「お守りさん」と称して、折り紙で6年生一人一人にお守りの形をしたメッセージカード入れを作っていたのです。また、メッセージカードをたてわり班活動の時間に下級生全員に書いてもらうなど6年生のために頑張りました。お宝を隠していた5年生にインタビューすると、「6年生に喜んで欲しいし、最後の遠足の日だから思い切り楽しんで欲しいと思います。」と答えてくれました。一方で、宝を探している6年生にインタビューをすると、「今まで私たちが下級生のことを思ってやってきたことが、こんな形で返ってきて嬉しいです。」と答えてくれました。

宝探しゲームが終わると、各学級・学年から6年生への感謝の思いを伝えるメッセージ動画が流されました。ニュース番組形式にしたり、合唱や合奏で伝えたりと、各学級・学年の工夫を凝らして感謝の思いを伝えていました。

そして、その感謝の思いを受けて、6年生からのメッセージ動画も流されました。6年生は、各学年にメッセージを伝えてくれ、卒業生と在校生との間で温かい心の交流ができたと思います。集会の終わりの言葉で、5年生の企画委員の子供は、「いろいろ協力し合えて、『👉帯西イエロー』の心が伸びました。皆さんもどんな心が伸びたか考えてください。」と述べてくれました。

集会の後は、2・3・6年生は渡鹿公園へ、4・5年生は保田窪公園へ、1年生は3丁目公園へと遠足に向かいました。久しぶりの遠足に、子供たちもわくわくした表情を見せてくれました。とても充実したいい一日となりました。



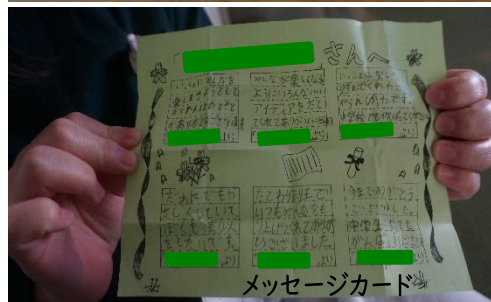
宝の地図



メッセージカードを入れた「お守りさん」



宝探しをする6年生



メッセージカード



6年生を迎える下級生と笑顔の6年生